

2020年08月04日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル：【夏休み相場】

関東地方も、梅雨明けして、30度を超える猛暑です。

例年ならば、「夏休み相場」の真っ最中なのですが、今年は、新型コロナウイルスの感染拡大で、全般的に、「夏休み」の雰囲気が無い、と感じます。

現政権は、旅行業界や宿泊施設を助ける目的で、「GoToキャンペーン」を開始したのですが、多くの国民からは、批判をあびています。

沖縄県の感染拡大は、人口の比率で計算すると、東京都の感染拡大のペースを上回るものです。

報道関係者は、現政権に付度して、明言しませんが、沖縄県の新型コロナウイルスの感染拡大は、「GoToキャンペーン」が原因だ、と考えて良いのでしょうか。

もちろん、新型コロナウイルスの感染拡大と、「GoToキャンペーン」の因果関係を科学的に証明することは、大変に難しいことでしょう。

だから、マスコミは、「GoToキャンペーン」が原因で、全国的に、新型コロナウイルスの感染が拡大している、とは言わない(言えない)のでしょうか。

しかしながら、この時期に、「GoToキャンペーン」を開始しなければ、幾分なりとも、感染の拡大を抑制することができたのだろう、と考えます。

現政権の新型コロナウイルスへの対応は、あまりにも杜撰(ずさん)。

朝令暮改が多発。

政策に、一環性が無いので、国民は、右往左往せざるを得ない。

要するに、国民のそれぞれが、自己責任で、感染しないように、努力するしか方法が無い。

もうすぐ、お盆休みのシーズンになるが、お盆休みの対応にしても、帰省を規制する訳でもない。

「ダジャレ」できえも、面白くなくて、ため息が出る。

明確な対策を講じなければ、感染拡大は抑制できない。

PCR検査に対する不作為も、その理由を聞いてあきれる。

日本で、コロナウィルス問題が発覚したのは、2月、3月ころだから、すでに、半年（6か月）程度が経過している。

その間に、感染症の入院施設を、プレハブでもいいから、作ることは可能だったはずだ。

今、ここにきて、隔離する施設が不足するなどは、この半年間、無策だった、としか言いようが無い。

要するに、日本において、新型コロナウイルスの感染拡大は、終息に向かっていない。

つまり、もう一段、感染が拡大する可能性が高い、ということだ。

そして、今のところ、国民のそれぞれが、自己責任で、対処するしかない、ということだ。

今は、「夏休み相場」なので、その変動は、相対的に小さいのだろうが、秋以降に、企業の倒産などが、劇的に増加するのではないかと危惧している。

+++++

(2020年08月04日東京時間16:20記述)